

4月1日から

市営バス路線が新設されます

「片田線」「寒井・松木沢方面循環線」「急行福祉大線」

本市の市営バスは、現在12路線、23台のバスで運行しています。平成20年度の利用者数は65万8793人、運行料収入も初めて1億円を突破し、通学や通勤、通院、買い物などで交通の足のない多くの皆様にご利用いただいています。

平成22年4月1日には、「片田線」「寒井・松木沢方面循環線」「急行福祉大線」の3路線の運行が新たに開始されます。これにより15路線、26台のバスで運行することとなり、市内の細部まで路線が網羅され、交通の便がより一層充実します。

市営バスの料金や乗車の仕方については次のとおりです。これまで市営バスを利用することに抵抗のあった方も、便利で低料金の市営バスをぜひご利用ください。

時刻や料金などの詳細については、総務課交通対策係へお問い合わせください。



●現在の路線

- ①佐久山・親園方面循環線、②金田方面循環線、③野崎方面循環線、④大田原市内循環線、⑤那須塩原駅線、⑥黒羽線、⑦雲巖寺線、⑧両郷線、⑨南方線、⑩須賀川線、⑪那須塩原線、⑫湯津上線

●平成22年4月1日新設の路線

- ⑬「片田線」
 - ・運行経路…なががわ水遊園↔倉↔亀久↔片田↔黒羽支所↔黒羽郵便局↔くらしの館↔五峰の湯↔黒羽中学校
 - ・運行キロ程…20・5 km
 - ・運行回数…1日6往復
 - ・運休日…年末年始、日曜祝祭日
- ⑭「寒井・松木沢方面循環線」
 - ・運行経路…黒羽郵便局↔くらしの館↔黒羽中学校↔寒井北部境↔黒羽刑務所↔松木沢↔黒羽中学校↔くらしの館↔黒羽郵便局
 - ・運行キロ程…28・9 km
 - ・運行回数…1日6本
 - ・運休日…年末年始、日曜祝祭日
- ⑮「急行福祉大線」
 - ・運行経路…国際医療福祉大学↔市野沢交差点↔練貫十文字↔東小屋↔那須塩原駅
 - ・運行キロ程…10・3 km

- ・運行回数…1日9往復
- ・運休日…年末年始

●市営バスの料金(乗車1回あたり)

- ・大人 200円
 - ・小学生 100円
 - ・中学生以上の学生 200円
- (ただし、平成22年4月から、中学生の乗車料金を小学生と同料金に改定)
- ※次の場合は、料金が半額に減額されます。

- ・65歳以上の方 大田原市民証を提示した場合
- ・障がいのある方 身体障害者手帳などを提示した場合

※市営バスは低料金で利用できるため、交通手段のない皆様にとって、大きな役割を担っています。

●定期券・回数券

通勤や通学などで毎日のようにバスに乗る方は、定期券や回数券を利用することで、乗車料金の負担をより少なくすることができます。

○販売所 市役所総務課、湯津上支所、黒羽支所、国際医療福祉大学売店、新世界スズキ(文房具店)

※両郷線、南方線、須賀川線を除く路線では、市営バス車内でも回数券を販売しています。

なお、4月1日からは、新設路線を含むすべての市営バス車内で回数券を販売します。

●市営バスに乗るとき

市営バスに乗るときは、時刻表に記載された時刻までに、その経路にある停留所の前でお待ちください。バスが停車して乗車できる仕組みとなっています。

※平成21年4月からは、交通安全上支障がないと思われる雲巖寺線、両郷線、南方線、須賀川線、湯津上線の一部の区間で、停留所以外での乗降ができる「自由乗降制度」を導入しました。

●市営バスを降りるとき

市営バスを降りるときは、降りる停留所の手前で降車ボタンを押して、降りる意思を運転手に伝えてください。

・料金は降りるときにお支払いください。運転手の脇にある料金箱に決まった乗車料金(または1回分の回数券)を投入して降りてください。

・定期券の方は、運転手に見えるように提示してください。

●運休日

- ・野崎方面循環線、佐久山・親園方面循環線、金田方面循環線、南方線、両郷線、須賀川線
- ↓年末年始と日曜祝祭日
- ・大田原市内循環線、那須塩原駅線、黒羽線、湯津上線、那須塩原線、雲巖寺線
- ↓年末年始

■問い合わせ

総務課交通対策係

TEL (23) 8832

